

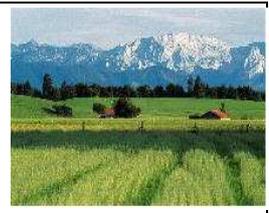


主要な農作物の生育情報

平成24年度 第3号

(平成24年6月12日)

福島県農林水産部農業振興課



【水 稲】

田植は、5月3日の大雨の影響や除染対策に伴う遅れも見られましたが、県全体で5月末日までにほぼ終了し、平年と比較し始期、盛期で2日、終期で3日の遅れとなりました。

(田植期) 本年 始期	5/10	盛期	5/17	終期	5/26
平年	5/8		5/15		5/23

生育は、農業総合センターにおける作況試験(6月5日現在)では、平年と比較し会津地域では草丈がやや長く茎数は平年並み、本部では草丈がやや短く茎数はやや少なめ、浜地域では生育良好だった前年と比較し草丈が短く茎数は少ない状況です。

【表 類】

1 大麦(シュンライ)

出穂期は、農業総合センターにおける作況試験では、本部で4/29(平年4/24)、浜地域では5/2(平年4/26)と平年より遅れましたが、本部のシュンライは6/6(平年6/3)に成熟期を迎えています。

2 小麦(きぬあずま、ゆきちから、ふくあかり)

農業総合センターにおける作況試験では、出穂期は平年と比較し「きぬあずま」で3~6日遅れ、「ゆきちから」では2~4日の遅れとなりました。

(出穂期) きぬあずま	本部	5/5(平年5/2)	浜地域	5/7(平年5/1)
ゆきちから	本部	5/10(平年5/8)	会津地域	5/16(平年5/12)

【夏そば】

農業総合センター会津地域研究所での生育は、5月1日播種で5月3日の大雨の影響から出芽不良となりましたが、全般的には出芽、生育は順調です。なお、4月下旬~5月上旬播種では現在開花始めを確認しています。

【野 菜】

1 アスパラガス

半促成栽培の春どりは、会津地方では、平年並みの5月10日頃より立茎を開始し、夏秋どりは平年並みの6月中旬から行われる予定です。露地栽培の春どりは、会津地方では平年並みの5月下旬より立茎を開始し、夏秋どりは平年並みの7月中旬頃より行われる予定です。

2 きゅうり

県中地方の露地夏秋きゅうりの播種は、平年並みの4月25日頃から行われ順調な生育となっています。定植は平年並みの5月25日頃から行われています。

3 トマト

県南地方では、2月中旬から3月上旬にかけての播種の作型で、平年並みの4月20日頃より定植作業が行われています。収穫は平年並みの6月中旬から行われる予定です。

南会津地方では、4月7日～8日にかけて共同播種が行われ、各農家への仮植苗配布は、平年並みの4月下旬から5月上旬に行われました。定植は平年並みの6月上旬から行われています。

4 春ブロッコリー

県南地方では、マルチベタがけの体系で3月下旬より4月上旬にかけて定植されました。初期生育は、低温の影響で遅れていましたが、現在は平年並みに回復し、出荷は5月20日頃からは行われています。

【果 樹】（農業総合センター果樹研究所 6月1日現在）

1 モ モ

果実肥大を暦日で比較すると、「あかつき」は縦径が平年比91%、側径が81%、「ゆうぞら」は縦径が平年比86%、側径が75%と両品種ともに小さい状況です。

農業総合センター果樹研究所における「あかつき」の収穫期予測によると、今後の気温が平年並に推移した場合、収穫始めは8月9日頃で平年より7日程度遅いと予測されています。

2 ナ シ

果実肥大を暦日で比較すると、「幸水」は縦径が平年比103%、横径が103%でほぼ平年並み、「豊水」は縦径が平年比95%、横径が98%とやや小さい状況です。

3 リンゴ

果実肥大を暦日で比較すると、「つがる」は縦径が平年比92%、横径が89%、「ふじ」は縦径が平年比93%、横径が88%と両品種ともに小さい状況です。

4 ブドウ

農業総合センター果樹研究所における「巨峰」の開花予測によると、今後の気温が平年並に推移した場合、開花始めは6月13日頃で平年より7日程度遅いと予測されています。

【花 き】

1 キク類

露地栽培の小ギクや輪ギクでは、8月咲き品種の定植が春先の低温の影響で平年より5日程度遅れ、4月20日頃からは行われました。その後の生育は、順調でほぼ平年並みに回復しています。

また、9月咲き品種の定植作業は、平年並みの5月中旬頃からは行われ平年並みの生育となっています。

2 リンドウ

萌芽は平年と比べ7日程度遅れましたが、草丈はほぼ平年並みとなり生育は回復してきています。

3 シュッコンカスミソウ

昭和村等の豪雪地域では、融雪の遅れによる萌芽や農作業の遅れが懸念されましたが、融雪後の生育やほ場準備が順調に進み、ほぼ平年並みの生育となり、6月上旬からの出荷となっています。

4 トルコギキョウ

会津地方の促成栽培の出荷は、7日程度遅れて4月下旬から始まりました。その後生育は回復し、本格出荷はほぼ平年並みの5月中旬から行われています。また、6月下旬以降出荷予定の季咲き栽培の生育は順調です。

【飼料作物】

1 牧草

牧草は、4月上旬が比較的低温で推移したこともあり、生育はやや遅れていましたが、その後順調に生育し、5月下旬から収穫期を迎え、現在収穫作業が行われています（昨年秋に除染（草地更新）を行った牧草地）。

なお、南会津や会津の一部を除き、今後県内の多くの地域で除染が行われる予定。

2 飼料用とうもろこし

飼料用とうもろこしは、5月上旬から播種作業が行われ、順調に発芽・生育しています。

◎ 病害虫の発生状況や防除情報については、病害虫発生予察情報（ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/fappi/index.html>）等を活用し、適切に対応してください。

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL(024)521-7339

http://wwwcms.pref.fukushima.jp/pcp_portal/contents?CONTENTS_ID=11224